

# 大阪大学基礎工学部同窓会

## 「基礎工学部五〇周年記念事業」 趣意書

拝啓 基礎工学部同窓生各位におかれましては益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

大阪大学基礎工学部は、初代学部長正田建次郎先生の示された「科学と技術の融合による科学技術の根本的な開発 それにより人類の真の文化を創造する」理念のもと、昭和三六年に機械工学、合成化学、電気工学の3学科と数理教室を設置して創設されました。翌三七年に制御工学、材料工学の2学科、三八年には化学工学科、四二年に生物工学科、四五年に情報工学科を設置して、数学、物理学、化学、生物学、情報科学などの基礎科学と先端技術を融合した新しい分野を研究対象とする、我が国の国立大学唯一の学部として教育研究を展開してきました。

さらに、大学院教育では、高度化する社会に対応すべく、世界を先導する我が国独自の創造的基礎研究や先端技術の開発には、既存の学問領域の枠を越えた異分野間の交流による研究の複合化・統合化を図る複合学際的アプローチが不可欠と考えられ、昭和三九年に数理系、物理系、化学系の3専攻からなる大学院基礎工学研究科が創設されました。また、基礎工学部を母体として発足した極限量子科学研究センターと太陽エネルギー化学研究センターとも協力して新しい科学・技術の発展をめざし、世界を先導する多くの研究成果をあげてきました。基礎工学部・研究科が理学と工学双方の視点を備えた研究者技術者を多数育成し、学界産業界の発展に大いに貢献してきたことは、皆様には良くご存知のことと思います。

現在の大学院は「物理と化学を基礎とする理論および実験の総合的な研究活動を行う物質創成専攻」「機械や生体を「しくみ」として捉え、その「はたらき」を解明するとともに、得られた知見の工学的な応用を拓くことのできる人材の育成を目指した機能創成専攻」「要素技術から複雑なシステムの構成までの広い知識によって現代の情報社会の発展に寄与できる人材の育成のために学際的な研究を行うシステム創成専攻」の3専攻に再編されております。平成一四年に創設された情報科学研究科と生命機能研究科もあわせて教育研究組織を構築することにより、基礎科学に根ざした先端学際領域の研究を行い、新しい科学と技術の発展をめざすとともに、専門性と学際性に富み国際的に活躍することができる人材の育成に努めています。

基礎工学部は、来る平成二三年に創立五〇周年を迎えます。基礎工学部同窓会は、この輝かしい基礎工学部の半世紀を記念し、創成期の五〇年を振り返るとともに、同窓生一同が基礎工学部内と協力して次の五〇年の更なる発展を図る基礎エルネサンスを目指して、次の記念事業を企画しました。

### 一) 記念レリーフの寄贈

基礎工学部の創設者である初代学部長(第六代大阪大学総長)の正田建次郎先生の遺徳を称えて、そのレリーフを基礎工学部に寄贈し、先生の筆による基礎工学部創設の理念とあわせて、基礎工学部正面玄関に設置し、次の五〇年の更なる発展を祈念します。

### (二) 記念誌の発行

部局編集委員会と同窓会編集委員会が協同で基礎工学部五〇年記念誌を作成刊行します。基礎工学部の創設期から発展の歴史を資料で振り返るとともに、同窓生のエピソードなどを織り交ぜたインタラクティブな内容にする予定です。

### (三) 在校生への奨励・支援

将来の日本と世界の科学・技術を背負って立つ後輩達(在校生)に、物心両面の奨励・支援をするため、講演会等を催し、奨学金・奨励賞などを同窓会から贈ります。

現在、同窓会幹事会・理事会で企画している記念事業は右記の三つですが、この機会に同窓生から記念事業として実施するにふさわしい更なるアイデアを募ります。ご意見等、**各学科同窓会連絡担当窓口**にお寄せください。

つきましては、右記の記念事業を実施するにあたり、同窓生の皆様にご支援を頂きたく、基金へのご協力をお願い申し上げます。

**入金方法**は一〇一万円としてお振込ください。基金にご協力いただいた方には五〇周年記念誌をお贈りする予定です。なお、基金運用についての方針は理事会にて決定し、幹事会にて実務を担当致します。

現在、学部卒業生は一七、〇九九人に達しております。その総力を結集して五〇周年記念事業を推進するために、卒業生の皆様には是非ともご協力を賜りますようお願い申し上げます。

基礎工学部同窓会長 金田 清臣

敬具